

政策 24 「男女共同参画社会の実現と全ての人に参加できる社会の形成」

政策 24 「男女共同参画社会の実現と全ての人に参加できる社会の形成」は、家庭、地域、職場などあらゆる場面において、性別や年齢、障害の有無などに関係なく、一人ひとりの個性や能力を十分に発揮できる社会の実現を目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策 24 の認知度

1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 32.9%、低認知度群は 67.0%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、男性（32.8%）が女性（32.3%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（42.3%）が 65 歳未満（29.1%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

石巻圏域（26.2%）では、回答者全体と比較して 6.7 ポイント低い。

（%）

政策 24 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	2.8	30.1	32.9	54.1	12.9	67.0	100.0

性別	男性	3.3	29.5	32.8	53.9	13.3	67.2	100.0
	女性	2.3	30.0	32.3	55.1	12.7	67.8	100.0
年齢別	65 歳未満	2.4	26.7	29.1	56.6	14.4	71.0	100.0
	65 歳以上	3.9	38.4	42.3	48.7	9.0	57.7	100.0

圏域別	仙台	2.8	30.0	32.8	53.5	13.6	67.1	100.0
	仙南	3.9	29.7	33.6	52.4	14.0	66.4	100.0
	大崎	2.6	33.0	35.6	52.9	11.5	64.4	100.0
	栗原	3.5	32.4	35.9	52.1	12.0	64.1	100.0
	登米	2.7	30.1	32.8	54.3	12.8	67.1	100.0
	石巻	2.1	24.1	26.2	59.9	13.9	73.8	100.0
	気仙沼・本吉	1.7	28.3	30.0	57.1	12.9	70.0	100.0

有効回答者数 1,616 名

政策 24 「男女共同参画社会の実現と
全ての人に参加できる社会の形成」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 49.1%、低認知度群は 50.9%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

登米圏域（75.0%）では、回答者全体と比較して 25.9 ポイント高い。

回答者全体と比較して、石巻圏域（39.1%）では 10 ポイント、栗原圏域（42.9%）
では 6.2 ポイント、仙台圏域（44.0%）では 5.1 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 61.8%、低認知度群は 38.2%である。

(%)

政策 24 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度 知っていた		あまり知ら なかった	知らなかった			
市町村職員全体	5.5	43.6	49.1	46.7	4.2	50.9	100.0	
圏 域 別	仙台	7.8	36.2	44.0	50.9	5.2	56.1	100.0
	仙南	3.6	47.3	50.9	43.6	5.5	49.1	100.0
	大崎	6.7	46.7	53.4	42.7	4.0	46.7	100.0
	栗原	14.3	28.6	42.9	57.1	0.0	57.1	100.0
	登米	0.0	75.0	75.0	25.0	0.0	25.0	100.0
	石巻	4.3	34.8	39.1	52.2	8.7	60.9	100.0
	気山沼・本吉	0.0	52.6	52.6	47.4	0.0	47.4	100.0

有効回答者数 330 名

学識者等全体	4.4	57.4	61.8	35.3	2.9	38.2	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 68 名

2. 政策 24 の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 79.2%、低関心度群は 20.9%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、女性（82.0%）が男性（75.7%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（84.8%）が 65 歳未満（77.0%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

大崎圏域（84.5%）では、回答者全体と比較して 5.3 ポイント高い。

石巻圏域（73.7%）では、回答者全体と比較して 5.5 ポイント低い。

(%)

政策 24 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があつた	ある程度関心があつた		あまり関心 がなかつた	関心が なかつた		
一般県民全体	25.0	54.2	79.2	18.7	2.2	20.9	100.0

性別	男性	21.9	53.8	75.7	21.8	2.5	24.3	100.0
	女性	27.2	54.8	82.0	16.2	1.9	18.1	100.0
年齢別	65 歳未満	22.0	55.0	77.0	21.0	2.0	23.0	100.0
	65 歳以上	32.5	52.3	84.8	12.6	2.6	15.2	100.0

圏域別	仙台	25.5	50.5	76.0	21.3	2.8	24.1	100.0
	仙南	26.2	52.3	78.5	19.4	2.1	21.5	100.0
	大崎	25.4	59.1	84.5	14.7	0.9	15.6	100.0
	栗原	26.8	53.2	80.0	18.5	1.5	20.0	100.0
	登米	25.2	55.9	81.1	16.2	2.7	18.9	100.0
	石巻	17.6	56.1	73.7	24.1	2.1	26.2	100.0
	気山沼・本吉	24.3	53.1	77.4	20.2	2.5	22.7	100.0

有効回答者数 1,647 名

政策 24 「男女共同参画社会の実現と
全ての人に参加できる社会の形成」

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 66.4%、低関心度群は 33.6%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、栗原圏域(85.7%)では 19.3 ポイント、登米圏域(83.3%)
では 16.9 ポイント、仙南圏域(78.6%)では 12.2 ポイント、気仙沼・本吉圏域(73.7%)
では 7.3 ポイント高い。

石巻圏域(43.4%)では、回答者全体と比較して 23.0 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 92.7%、低関心度群は 7.4%である。

(%)

政策 24 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があつた	ある程度関心があつた		あまり関心 がなかつた	関心が なかつた			
市町村職員全体	13.5	52.9	66.4	29.1	4.5	33.6	100.0	
圏 域 別	仙台	15.4	61.6	32.5	6.0	38.5	100.0	
	仙南	12.5	66.1	78.6	17.9	3.6	21.5	100.0
	大崎	7.9	56.6	64.5	32.9	2.6	35.5	100.0
	栗原	28.6	57.1	85.7	14.3	0.0	14.3	100.0
	登米	25.0	58.3	83.3	8.3	8.3	16.6	100.0
	石巻	4.3	39.1	43.4	43.5	13.0	56.5	100.0
	気仙沼・本吉	18.4	55.3	73.7	26.3	0.0	26.3	100.0

有効回答者数 333 名

学識者等全体	26.5	66.2	92.7	5.9	1.5	7.4	100.0
--------	------	------	------	-----	-----	-----	-------

有効回答者数 68 名

3. 政策 24 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 43.0%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 55.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 33.1%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 75.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 60.0 点で、県民は「ある程度満足している」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 28.4%と推定できる。

政策 24 「男女共同参画社会の実現と
全ての人に参加できる社会の形成」

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	40.0	20.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	15.8	(84.2)
満足度 60点未満の割合		58.8
要検討領域にある回答者全体の割合		43.0

有効回答者数；重視度 1,621人、満足度 1,604人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策24重視度	政策24満足度
度数	有効	1621	1604
	欠損値	100	117
平均値		72.14	51.11
平均値の標準誤差		.421	.429
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.949	17.168
分散		287.267	294.744
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセントイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	55.0	15.0
第1四分位数(25パーセントイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	20.8	(79.2)
満足度 60点未満の割合		53.9
要検討領域にある回答者全体の割合		33.1

有効回答者数；重視度 337人、満足度 336人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策24重視度	政策24満足度
度数	有効	337	336
	欠損値	1	2
平均値		66.91	53.56
平均値の標準誤差		.939	.838
中央値		70.00	55.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.242	15.354
分散		297.293	235.746
範囲		100	90
最小値		0	0
最大値		100	90
パーセントイル	25	60.00	50.00
	40	65.00	50.00
	50	70.00	55.00
	60	70.00	60.00
	75	80.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	75.0	60.0	15.0
第1四分位数(25パーセントイル)	65.0	50.0	15.0
第3四分位数(75パーセントイル)	80.0	70.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	13.4	(86.6)
満足度 60点未満の割合		41.8
要検討領域にある回答者全体の割合		28.4

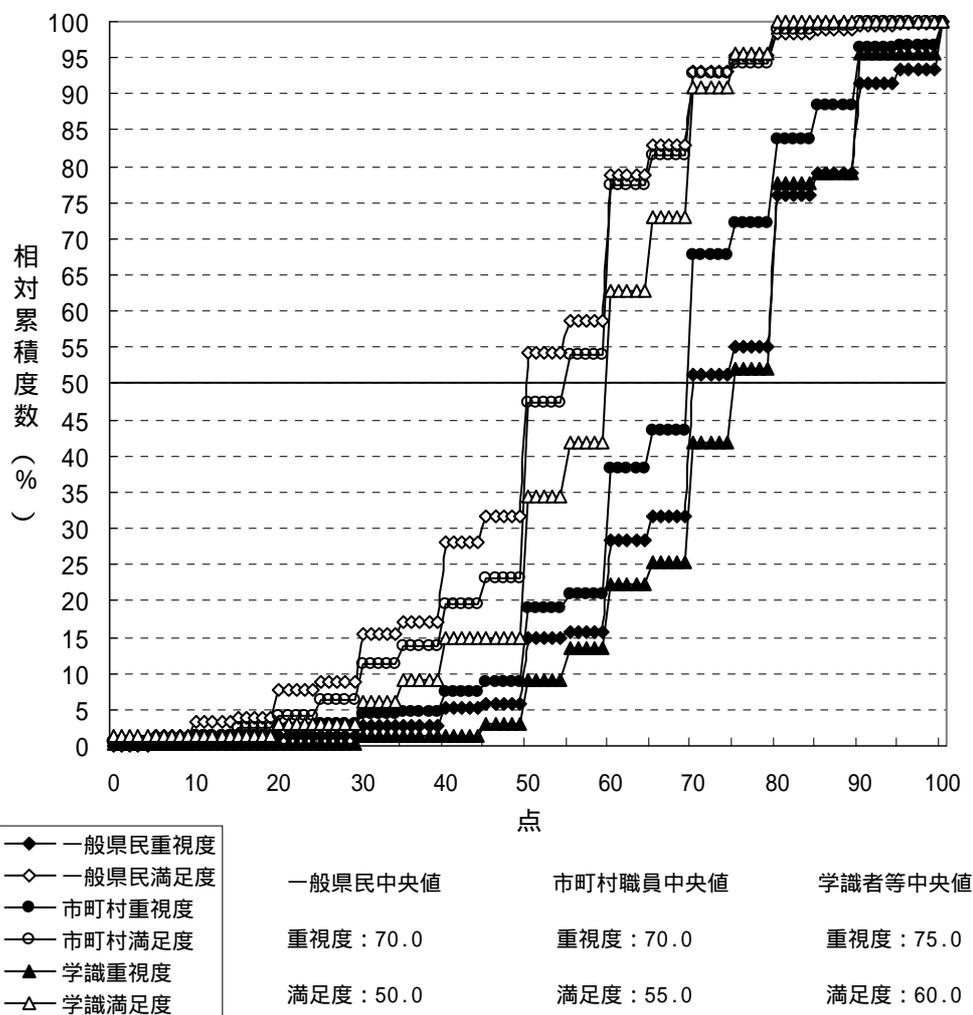
有効回答者数；重視度 67人、満足度 67人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策24重視度	政策24満足度
度数	有効	67	67
	欠損値	2	2
平均値		74.03	57.46
平均値の標準誤差		1.732	1.683
中央値		75.00	60.00
最頻値		80	60
標準偏差		14.175	13.772
分散		200.938	189.677
範囲		70	65
最小値		30	15
最大値		100	80
パーセントイル	25	65.00	50.00
	40	70.00	55.00
	50	75.00	60.00
	60	80.00	60.00
	75	80.00	70.00

政策 24 「男女共同参画社会の実現と
 全ての人に参加できる社会の形成」

「政策24 男女共同参画社会の実現と全ての人に参加できる社会の形成」



3 2 性別・年齢区分別 (一般県民)

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、女性(75.0点)が男性(70.0点)よりも高い。

満足度の中央値は、男性女性ともに50.0点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、女性(25.0点)が男性(20.0点)よりも大きい。

重視度の四分位偏差は、女性(12.5点)が男性(10.0点)寄りも大きい。

満足度の四分位偏差は、男性女性共に10.0点で同じである

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性43.7%、女性42.6%と推定できる。

中央値、第1四分位数、第3四分位数、四分位偏差の値(点)

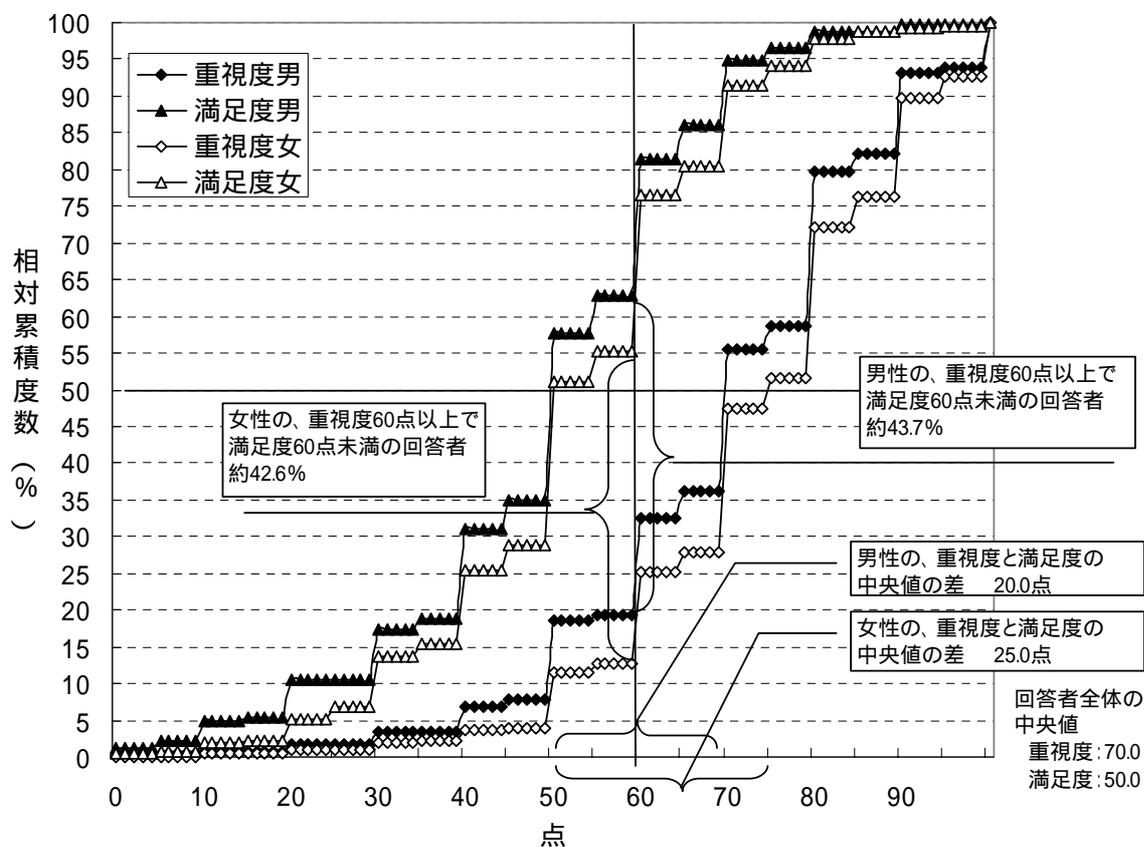
		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	75.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	25.0
第1四分位数 (25パーセントイル)	重視度	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第3四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	85.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	25.0
四分位偏差 (第3四分位数-第1四分位数)/2	重視度	10.0	10.0	12.5
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	男性	女性
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	19.2 (80.8)	12.7 (87.3)
満足度 60点未満の割合	62.9	55.3
要検討領域にある回答者全体の割合	43.7	42.6

政策 24 「男女共同参画社会の実現と
全ての人に参加できる社会の形成」

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策24重視度	政策24満足度
度数	有効	771	762
	欠損値	32	41
平均値		70.14	49.33
平均値の標準誤差		.635	.637
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.618	17.577
分散		310.404	308.947
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策24重視度	政策24満足度
度数	有効	832	825
	欠損値	64	71
平均値		73.92	52.75
平均値の標準誤差		.561	.577
中央値		75.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.180	16.583
分散		261.808	275.008
範囲		90	100
最小値		10	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	75.00	50.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	60.00

3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満（70.0 点）が 65 歳以上（80.0 点）よりも低い。

満足度の中央値は、65 歳未満（50.0 点）が 65 歳以上（55.0 点）よりも低い。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満（20.0 点）が 65 歳以上（25.0 点）よりも小さい。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満（10.0 点）が 65 歳以上（12.5 点）よりも小さい。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 44.1%、65 歳以上 40.3%と推定できる。

中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

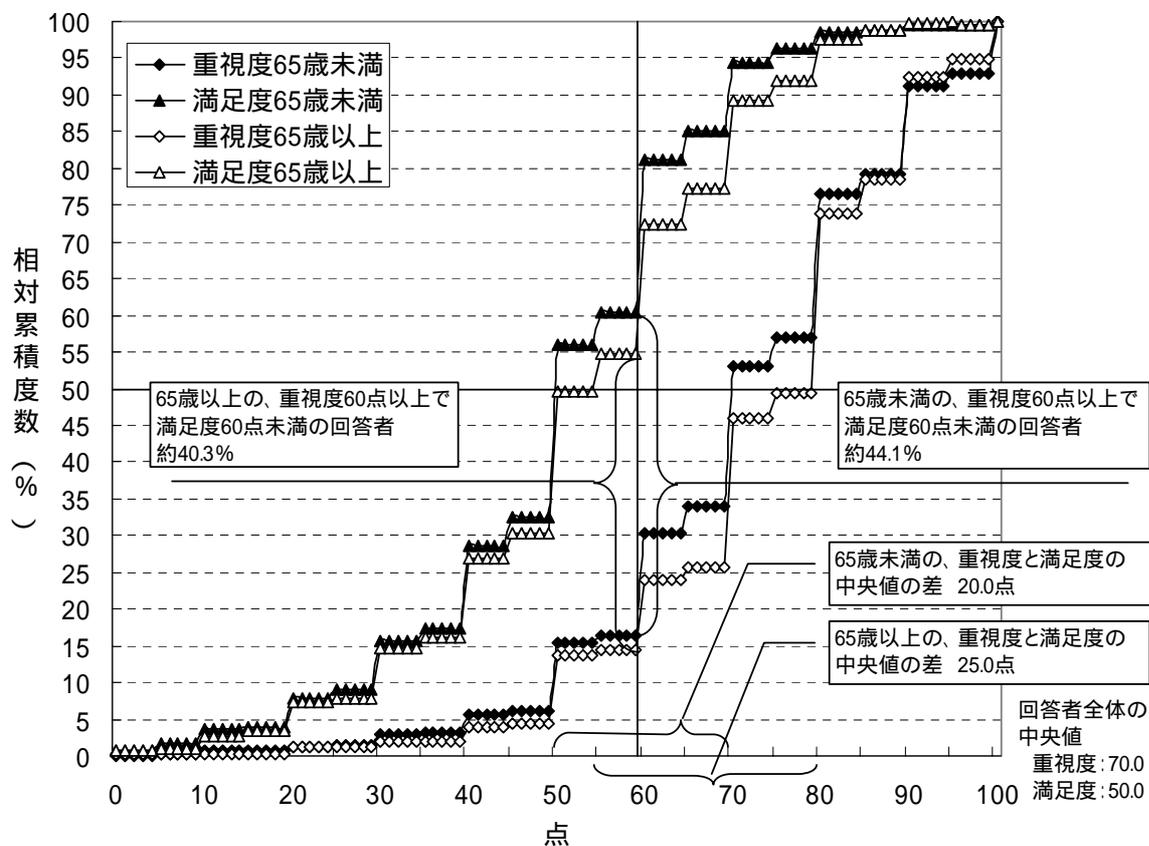
		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	80.0
	満足度	50.0	50.0	55.0
	かい離	20.0	20.0	25.0
第 1 四分位数 (25パーセンタイル)	重視度	60.0	60.0	65.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	25.0
第 3 四分位数 (75パーセンタイル)	重視度	80.0	80.0	85.0
	満足度	60.0	60.0	65.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	12.5

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	16.3 (83.7)	14.4 (85.6)
満足度 60 点未満の割合	60.4	54.7
要検討領域にある回答者全体の割合	44.1	40.3

政策 24 「男女共同参画社会の実現と
全ての人が参加できる社会の形成」

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



(一般県民) 65歳未満の重視度・満足度基本統計量

		政策24重視度	政策24満足度
度数	有効	1199	1188
	欠損値	41	52
平均値		71.61	50.49
平均値の標準誤差		.498	.491
中央値		70.00	50.00
最頻値		80	50
標準偏差		17.259	16.920
分散		297.866	286.299
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	80.00	55.00
	75	80.00	60.00

(一般県民) 65歳以上の重視度・満足度基本統計量

		政策24重視度	政策24満足度
度数	有効	402	397
	欠損値	55	60
平均値		73.58	52.90
平均値の標準誤差		.804	.890
中央値		80.00	55.00
最頻値		80	50
標準偏差		16.112	17.740
分散		259.581	314.694
範囲		100	95
最小値		0	0
最大値		100	95
パーセンタイル	25	65.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	80.00	55.00
	60	80.00	60.00
	75	85.00	65.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、大崎圏域 (80.0 点) が回答者全体 (70.0 点) よりも 10 ポイント、仙南圏域 (75.0 点)、栗原圏域 (75.0 点) の 2 圏域が 5 ポイント高い。

満足度の中央値は、大崎圏域 (60.0 点) が回答者全体 (50.0 点) よりも 10 ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、仙南圏域 (12.5 点)、登米圏域 (12.5 点) の 2 圏域が回答者全体 (10.0 点) よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域 (7.5 点) が回答者全体 (10.0 点) よりも小さい。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、石巻圏域 (60.0 点) が回答者全体 (70.0 点) よりも 10 ポイント、栗原圏域 (65.0 点) が 5 ポイント低い。

満足度の中央値は、大崎圏域 (60.0 点)、栗原圏域 (60.0 点)、登米圏域 (60.0 点) の 3 圏域が回答者全体 (55.0 点) よりも 5 ポイント高く、仙南圏域 (50.0 点)、石巻圏域 (50.0 点) の 2 圏域が 5 ポイント低い。

重視度の四分位偏差は、栗原圏域 (15.0 点) が回答者全体 (10.0 点) よりも大きく、登米圏域 (9.4 点) が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域 (15.0 点)、仙台圏域 (8.8 点)、仙南圏域 (7.5 点)、栗原圏域 (7.5 点)、大崎圏域 (5.6 点)、登米圏域 (5.6 点) の 6 圏域が回答者全体 (5.0 点) よりも大きい。

政策 24 「男女共同参画社会の実現と
全ての人に参加できる社会の形成」

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	75.0	80.0	75.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	60.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	25.0	20.0	25.0	20.0	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	65.0	60.0	60.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	45.0	40.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	25.0	20.0	15.0	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	85.0	80.0	85.0	85.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	25.0	20.0	25.0	25.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	12.5	10.0	10.0	12.5	10.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	7.5	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値 (点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	70.0	65.0	70.0	60.0	70.0
	満足度	55.0	55.0	50.0	60.0	60.0	60.0	50.0	57.5
	かい離	15.0	15.0	20.0	10.0	5.0	10.0	10.0	12.5
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	50.0	60.0
	満足度	50.0	45.0	45.0	50.0	50.0	56.3	30.0	50.0
	かい離	10.0	15.0	15.0	10.0	10.0	3.8	20.0	10.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	90.0	78.8	70.0	80.0
	満足度	60.0	62.5	60.0	61.3	65.0	67.5	60.0	60.0
	かい離	20.0	17.5	20.0	18.8	25.0	11.3	10.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	10.0	10.0	10.0	10.0	15.0	9.4	10.0	10.0
	満足度	5.0	8.8	7.5	5.6	7.5	5.6	15.0	5.0

4. 政策 24 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 1 「男女がともに個性と能力を発揮できる社会づくり」(37.5%)である。

第 2 位は施策 4 「高齢者がいきいきと生活する社会づくり」(25.4%)である。

第 3 位は施策 5 「女性や子ども、高齢者や障害者等の人権の擁護」(21.9%)である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 1 「男女がともに個性と能力を発揮できる社会づくり」(47.3%)である。

第 2 位は施策 2 「青少年の社会参加」(17.6%)である。

第 3 位は施策 4 「高齢者がいきいきと生活する社会づくり」(16.1%)である。

学識者では、

第 1 位は施策 1 「男女がともに個性と能力を発揮できる社会づくり」(39.7%)である。

第 2 位は施策 4 「高齢者がいきいきと生活する社会づくり」(27.9%)である。

第 3 位は施策 2 「青少年の社会参加」(11.8%)である。

性別

一般県民では、

第 1 位は、男性女性とも、施策 1 「男女がともに個性と能力を発揮できる社会づくり」である。

第 2 位は、男性では施策 4 「高齢者がいきいきと生活する社会づくり」、女性では施策 5 「女性や子ども、高齢者や障害者等の人権の擁護」である。

第 3 位は、男性では施策 5 「女性や子ども、高齢者や障害者等の人権の擁護」、女性では施策 4 「高齢者がいきいきと生活する社会づくり」である。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

第 1 位は、65 歳未満では施策 1 「男女がともに個性と能力を発揮できる社会づくり」、65 歳以上では施策 4 「高齢者がいきいきと生活する社会づくり」である。

第 2 位は、65 歳未満では施策 5 「女性や子ども、高齢者や障害者等の人権の擁護」、65 歳以上では施策 1 「男女がともに個性と能力を発揮できる社会づくり」である。

第 3 位は、65 歳未満では施策 4 「高齢者がいきいきと生活する社会づくり」、65 歳以上では施策 5 「女性や子ども、高齢者や障害者等の人権の擁護」である。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、全圏域とも施策 1「男女がともに個性と能力を発揮できる社会づくり」である。

第 2 位は、仙台、仙南、栗原、登米、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 4「高齢者がいきいきと生活する社会づくり」、大崎、石巻の 2 圏域では施策 5「女性や子ども、高齢者や障害者等の人権の擁護」である。

第 3 位は、仙台、仙南、栗原、登米、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 5「女性や子ども、高齢者や障害者等の人権の擁護」、大崎、石巻の 2 圏域では施策 4「高齢者がいきいきと生活する社会づくり」である。

市町村職員では、

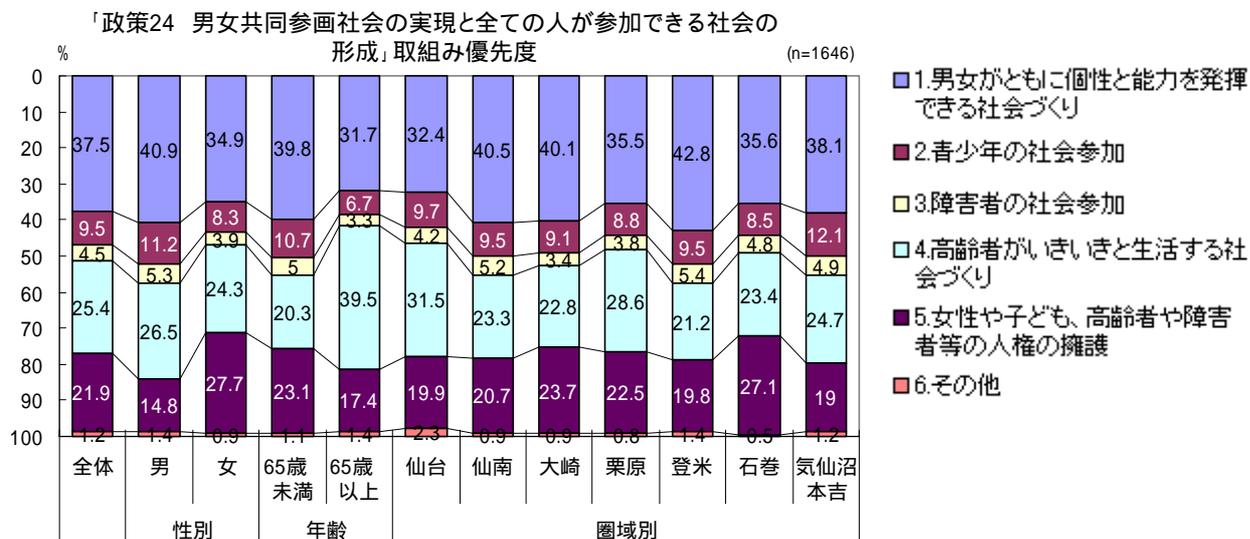
第 1 位は、全圏域とも施策 1「男女がともに個性と能力を発揮できる社会づくり」である。

第 2 位は、仙台、仙南、栗原、登米、気仙沼・本吉の 5 圏域では施策 2「青少年の社会参加」、仙南、大崎、栗原、石巻の 4 圏域では施策 4「高齢者がいきいきと生活する社会づくり」、栗原圏域では施策 3「障害者の社会参加」である（仙南圏域では施策 2 と施策 4 が、栗原圏域では施策 2 と施策 3 と施策 4 が共に第 2 位になっている）。

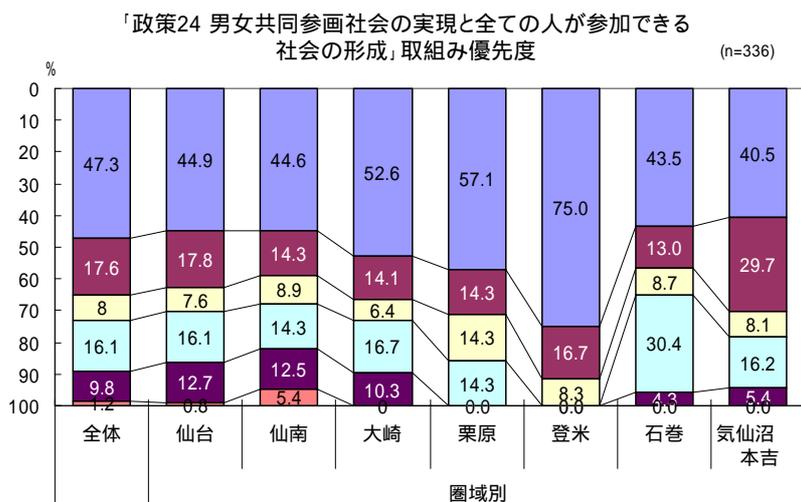
第 3 位は、仙台、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 4「高齢者がいきいきと生活する社会づくり」、大崎、石巻の 2 圏域では施策 2「青少年の社会参加」、登米圏域では施策 3「障害者の社会参加」である。

政策 24 「男女共同参画社会の実現と
全ての人が参加できる社会の形成」

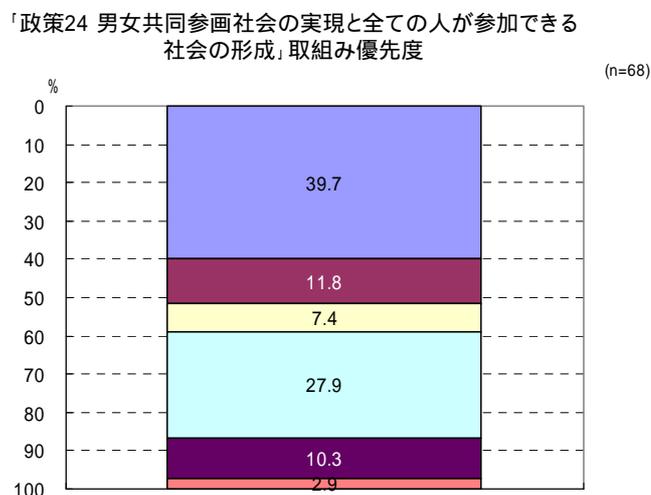
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 24 「男女共同参画社会の実現と
全ての人に参加できる社会の形成」

【一般県民】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳 未満	65歳 以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
1	1.男女がともに個性と能力を発揮できる社会づくり	37.5	40.9	34.9	39.8	31.7	32.4	40.5	40.1	35.5	42.8	35.6	38.1
2	2.青少年の社会参加	9.5	11.2	8.3	10.7	6.7	9.7	9.5	9.1	8.8	9.5	8.5	12.1
3	3.障害者の社会参加	4.5	5.3	3.9	5.0	3.3	4.2	5.2	3.4	3.8	5.4	4.8	4.9
4	4.高齢者がいきいきと生活する社会づくり	25.4	26.5	24.3	20.3	39.5	31.5	23.3	22.8	28.6	21.2	23.4	24.7
5	5.女性や子ども、高齢者や障害者等の人権の擁護	21.9	14.8	27.7	23.1	17.4	19.9	20.7	23.7	22.5	19.8	27.1	19.0
6	6.その他	1.2	1.4	0.9	1.1	1.4	2.3	0.9	0.9	0.8	1.4	0.5	1.2

【市町村職員】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
1	1.男女がともに個性と能力を発揮できる社会づくり	47.3	44.9	44.6	52.6	57.1	75.0	43.5	40.5
2	2.青少年の社会参加	17.6	17.8	14.3	14.1	14.3	16.7	13.0	29.7
3	3.障害者の社会参加	8.0	7.6	8.9	6.4	14.3	8.3	8.7	8.1
4	4.高齢者がいきいきと生活する社会づくり	16.1	16.1	14.3	16.7	14.3	0.0	30.4	16.2
5	5.女性や子ども、高齢者や障害者等の人権の擁護	9.8	12.7	12.5	10.3	0.0	0.0	4.3	5.4
6	6.その他	1.2	0.8	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策 番号	取組(施策)名	全体
1	1.男女がともに個性と能力を発揮できる社会づくり	39.7
2	2.青少年の社会参加	11.8
3	3.障害者の社会参加	7.4
4	4.高齢者がいきいきと生活する社会づくり	27.9
5	5.女性や子ども、高齢者や障害者等の人権の擁護	10.3
6	6.その他	2.9

政策 24 「男女共同参画社会の実現と
全ての人に参加できる社会の形成」